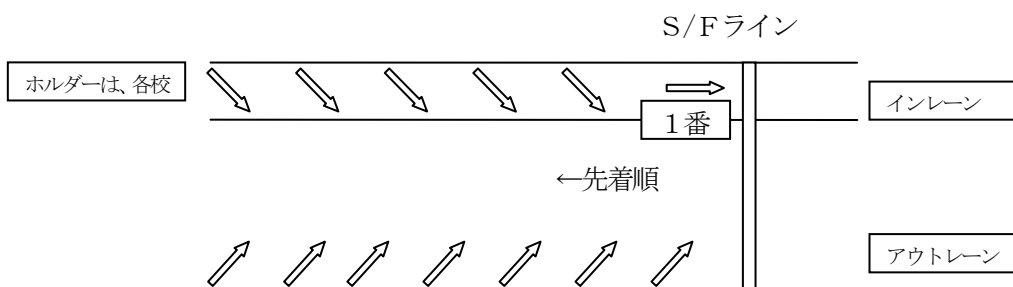


トラック・レース

- (1) 走路保護のためウォームアップ・オイルの使用は禁止する。
- (2) 走路入退場方法
競技者・監督の競技場内への入場はバック側、退場はホーム側とする。
- (3) **セルフ検車**
検車場の入り口にセルフ検車のブースを設け、検車台を設置する。入場前に各自検車スケールを当てることにより不具合箇所を確認し、メカニック・サービスの調整を受けることが出来る。
- (4) 招集
招集所はバック側通路に設置する1箇所とし、装備の確認と自転車の検査も実施する。招集は**各自の出走予定時刻の15分前までに完了する**。検車後、バンク内に入らず、チーム・ピット等へ戻った場合、再び検車を受ける。**また、チーム・パーシュートおよびチーム・スプリントの出走競技者の申請は、競技開始の1時間前までに招集所へ申請する。**
- (5) ヘルメット・カバー
4km速度競走、スクラッチ、ポイント・レース、ケイリンの種目にヘルメット・カバーを装着する。
- (6) スタートについて
・1kmTT、3kmP、チーム・パーシュートの最も内側の競技者、チーム・スプリントの第一走競技者はスターティング・マシンを使用する。
・スクラッチ、ポイント・レースでは、完全に乗車完了し、各チームのホルダーに支えられた状態で準備する。
- (7) スプリント予選、4km速度競走およびケイリンのスタートのホルダーは、競技役員がつとめる。
- (8) ポイント・レースおよびスクラッチのスタートについて
・ホルダーは各チームのスタッフがとめる。
・スタート位置はスタート・リストにより、インレーン・スタート、アウトレーン・スタートの選手を参加競技者の約半数を指定する。発送員の指示後、各競技者はそれぞれ指定されたレーンに先着順でスタート位置に着く。ただし1番キャップの競技者はインレーンの先頭からスタートする。1周の競技外周回の後、正式スタートとする。



- (9) 勝ち上がり方法
 - ① スプリント
予選は、18名を勝ち上がりとして選出する。2周回で競技する。競技順番は、1回戦、1回戦敗者復活戦、1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝、1/2決勝、順位決定戦とし、1/4決勝からは3回戦方式とする。
 - ② 4km速度競走
予選(組数5)より、各組上位6名を選出し、準決勝(組数3)を行う。準決勝各組上位4名で決勝戦(12名)を行う。
 - ③ ポイント・レース
予選(組数3)より、各組上位8名を選出し、決勝戦(24名)を行う。
 - ④ ケイリン
1回戦(組数8)より、各組上位2名を2回戦に選出する。敗者により敗者復活戦(組数6)を行い、各組上位2名を2回戦に選出する。2回戦(組数4)より、各組上位2名を選出し決勝戦(8名)を行う。
 - ⑤ スクラッチ
予選(組数3)より、各組上位6名を選出し、決勝戦(18名)を行う。
- (10) 種目別表彰
トラック・レースの表彰は、イベント・ステージにおいて実施する。対象競技者は指定された時間の15分前まで

に登録してあるジャージ着用で表彰式選手控え所に集合する。

(11)ギア比チェック

ギア・チェック対象者は、上位入賞者およびアランダムに選出する。

競技終了後のギア・チェックは、バンク内ホーム側のギア・チェック場にて行うため、対象者は速やかにチェックを受ける。

個人ロード・レース

(1)招集・検査

・日時・場所 8月12日(日) 6:30 ~ 7:10 選手村(オムロン武雄駐車場)

・招集でジャージ・ヘルメット検査・チップ検査を受け、サイン・シートに記入する。

(2)スタート時刻 7:30 (集合は、15分前)

(3)スタート方式

・武雄市立朝日小学校前地点よりパレード方式でスタートする。(この間先導バイクを追い越してはいけない。)

・スタートから北東約1.3km付近において、移動審判の合図により正式スタートとする。

(4)スタート位置

・前年度入賞者及び選抜大会入賞者は前列にシードする。その他は集合順とする。

(5)山岳賞は2周回目から5周回目までの4回設ける。

(6)補給について

①チーム補給所

・補給ポイントは市道 森ノ木・伊東山線 赤穂山トンネル手前、上り左側のみ認める。補給エリアは看板により明示する。

・補給は各チーム1名で行う。

・補給員をバスで補給ポイントに輸送するので、6:55までに選手村の指定された場所に集合する。補給所行きバスは7:00に出発する。

・補給は、2周回目より、4周回目までの間に行う。

・補給員はレース終了後にゴール地点に戻る。

・**全面規制のためチーム・カーでは補給所まで行くことはできない。**

②オフィシャル補給所

・オフィシャル補給所は、国道 498号線戸坂峠手前に設ける。

・補給は、水のみをボトルに入れ、2周回目より、5周回目まで競技補助員が行う。

③ボトル置き場

・近隣住民への配慮から、チーム補給所、オフィシャル補給所の前後にボトル置き場を指定するので、不要のボトル等はこの場所を利用して置く。

(7)関門での打ち切り

・正式スタート地点(中野交差点)に関門所を設置する。先頭集団(メイン集団)が通過した時点から5分を制限時間とし、遅れて通過できない競技者を失格とする。失格となった競技者選手はボディ・ナンバーを1枚外し、関門審判員に渡す。

(8) 器材サポートとインフォメーション

・ニュートラル・カー2台、ニュートラル・バイク2台を用意する。スペア・ホイールについては監督会議時に連絡する。

・インフォメーション・バイクを準備する。

(9)順位決定・計時

・マトリックス社製計測チップを使用し、順位決定はVTR、計時は自動計測システムを参考にする。

(10)検車はゴール後、上位20名程度を対象に武雄市立朝日小学校内で実施する。完走者は、計測チップの返却もあるので、武雄市立朝日小学校の本部まで行く。

(11)計測チップの受け渡しおよび返却

・マトリックス社製計測チップについては、下記日程で、ロード用ボディ・ナンバー、プレート等とともに受け渡す。

受け渡し日時:8月11日(土)10:00~12:00

場 所 :武雄競輪場 メカニックサービスエリア マトックス・ブース

返 却日時:8月12日(日)競技終了後

返 却場所:武雄市立朝日小学校 本部

備 考 :計測チップを紛失したり故意に破損した場合は実費請求する。

(12)表彰式・閉会式

・開始予定時刻 11:30

・会場 武雄市立朝日小学校 体育館

・山岳賞の表彰があるので、入賞競技者と共に表彰式会場に集合する。

(13)その他

・ロード・コースの試走は、各学校監督の責任のもと行ってもよい。(ヘルメットの着用、飲食物の投げ捨てに特に注意する。)

・一般道のため車両の通行があるので、交通規則を遵守して走行する。